

業務紹介資料(事務系)

東海農政局



農林水産省
東海農政局

目次

1. 企画調整室（広報班）	 P.3
2. 消費・安全部	 P.6
3. 生産部 生産振興課、経営政策調整官	P.18
4. 経営・事業支援部 輸出促進課、農地政策推進課、経営支援課	P.23
5. 農村振興部 農村計画課、都市農村交流課	P.30
6. 統計部 生産流通消費統計課、経営・構造統計課	P.36
7. 愛知県拠点	P.41

企画調整室

(広報班)

企画調整室紹介 広報班(5人)

【職員一人一人が広報担当という意識】

政策・事業の目的や内容は「伝わらなければ意味がない」分かりやすく伝えよう、視聴者目線という姿勢

Webサイト運営、プレスリリース、広報誌「食・農ぴっくあっぷ」、メルマガ「とうかいほっとメール」、MAFFアプリ、Facebook、記者懇談会など

◆東海農政局の取り組み①

VR体験コンテンツをイベントで提供

ダムをまるごと見学できるものや、農業用水の旅、水稻の育苗施設、牛舎など、普段なかなか訪れることのできない東海3県の農業関連施設や農作物を、360度のパノラマ画像で提供中



牛乳はどこからくるの？

◆東海農政局の取り組み②

BUZZMAFF「でらTOKAI」の配信

農林水産省職員自らが、省公式YouTubeチャンネルでYouTuberとなるなど、担当業務にとらわれず、その人ならではのスキルや個性を活かして、我が国の農林水産物の良さや農林水産業、農山漁村の魅力を発信するプロジェクト

地元の美しい景色や生き物、農林漁業体験、グルメなどを紹介



選考採用者 インタビュー

R6年度採用 広報班 調査広報係長のTさん

今担当している業務は？

東海農政局のWebサイトを公開するに当たり、各部からの申請内容の確認を行い、承認作業を担っています。日々の業務はデスクワークだけでなく、他部との打ち合わせや広報業務の相談に応じています。また、東海農政局メールマガジン「とうかいほっとメール」の編集者として、基本的に月2回、東海農政局管内でのイベントやお知らせなど一般読者に届けたい情報をとりまとめて、配信しています。

農水省を志望した理由は？

農林水産省を志望した理由は、私たちが生きていく上で欠かせない、「食」と農林水産省が担う国民の暮らしを支える仕事に魅力を感じたことです。

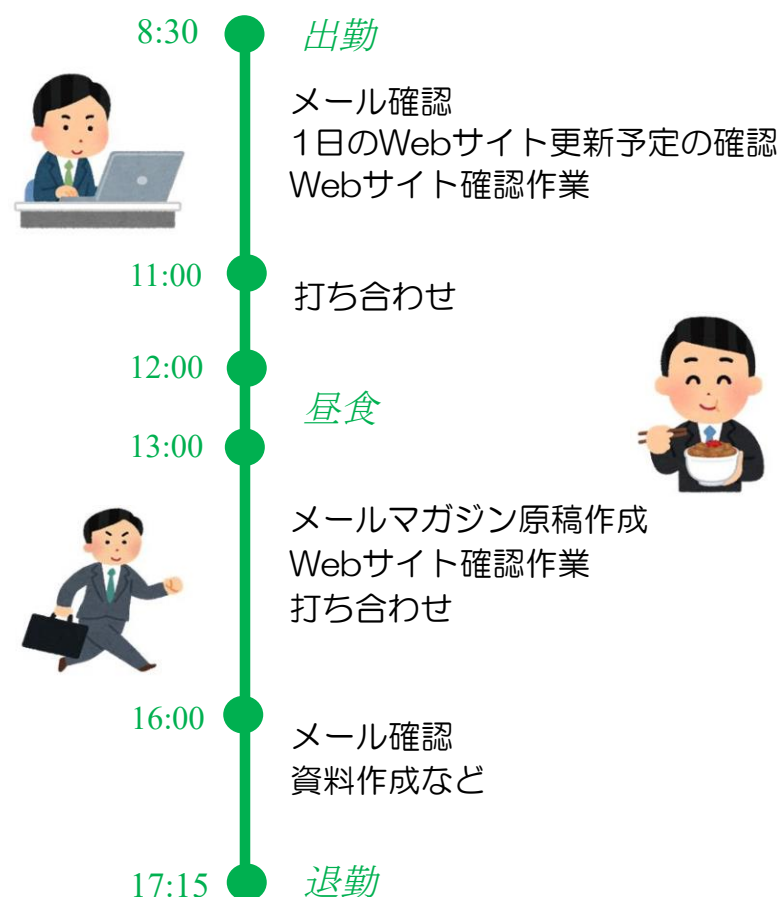
職場環境について

職場の皆さんはとても優しく、分からないことがあれば丁寧に教えてくださるので、相談しながら業務を進めることができます。他部の職員と話す機会も多く、意見交換をすることができ、働きやすい環境だと感じています。

皆さんへのメッセージを

入省するまで農業や食に携わる経験がなく、知識も浅いため、業務に取り組むことができるのか不安でした。今は広報担当として、国民に向けて東海農政局や農林水産省の認知を高め、日本の食や農業にまつわる魅力などの情報発信をしています。ぜひ、これまでの職務経験を活かし、東海農政局で一緒に働きませんか。

とある一日のスケジュール



消費・安全部

食の安心は譲れない だから、ここで私は働く

——— 消費・安全部の紹介 ———

令和6年8月
東海農政局 消費・安全部



農林水産省の地方支分部局（令和6年8月現在）



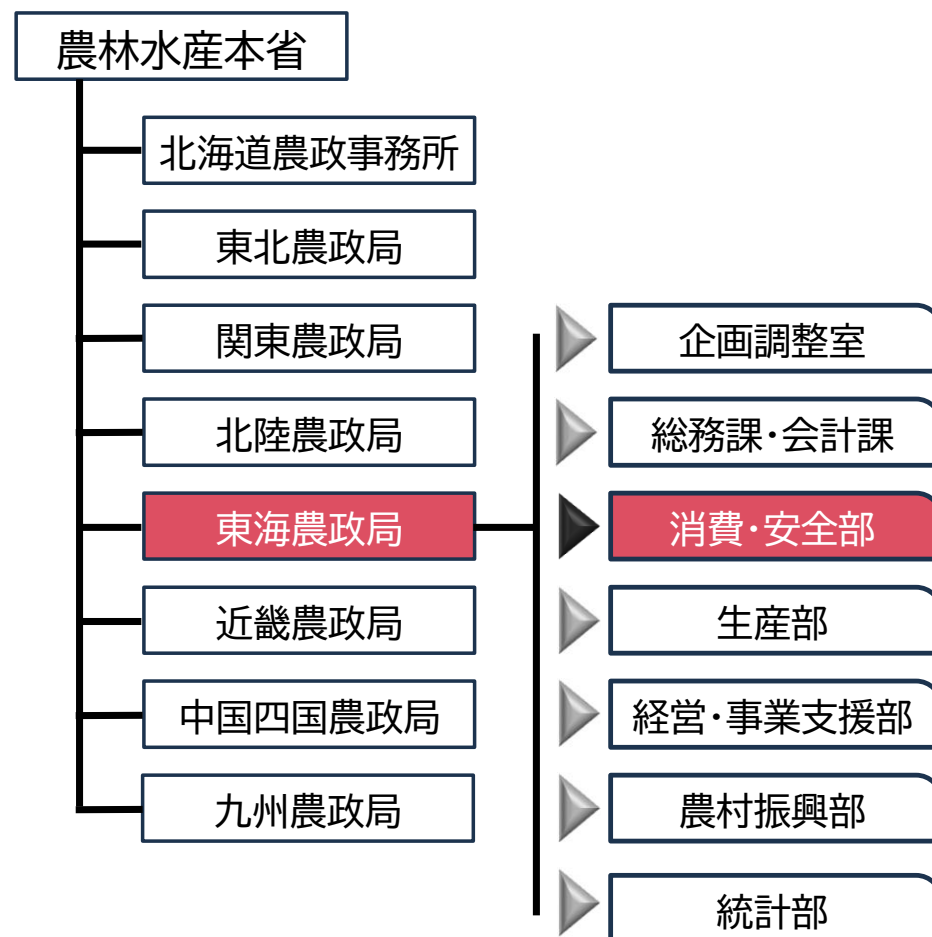
私がナビゲーターを務めます。

まず、東海農政局について

- 地方支分部局は、北海道農政事務所と7つの農政局で構成されています。
- 東海農政局は、岐阜県、愛知県、三重県の3県を担当します。
- 主な勤務地は、名古屋市です。

次に、消費・安全部について

- 消費・安全部は、消費者の「食」への信頼確保にかかわる政策を担っています。
- 具体的には、消費者行政や食品安全といった業務になります。
- 東海農政局消費・安全部には、4課と1チームが置かれ、約110人の職員がいます。



消費・安全部各課の紹介①



- 最初に紹介するのは、消費者行政を一手に担う消費生活課です。
- 課員23人が班に分かれて、食育、消費者への情報発信等の業務を担当しますが、セミナーを開催したり、夏休み子供向けイベントを実施する際には、課員総出でワイワイ楽しく取り組むのが特徴です。

消費生活課

食育の推進

食育推進基本計画の取組を進めるための業務です。

有機の給食が
増えるように

東海3県において、学校給食関係者を対象としたセミナーを開催します。



食育の取組が
広がるように

特徴ある食育の事例を取材し、動画にまとめ、YouTubeのmaffchannelで発信します。



共食の機会が
増えるように

こども食堂やフードバンクと意見交換を行うとともに、支援措置の情報を提供します。



消費者への情報発信

食に関する情報を発信するための業務です。

より良い
消費生活を
送れるように

消費者を対象に、野菜の消費拡大等をテーマにセミナーを開催します。



親子で楽しく
学べるように

親子での遊び体験を通じて、食料や農業について学べるイベントを開催します。



地域の食のこ
とを知っ
てもらえる
ように

食に寄せる思い、今後の夢等を事業者の方にインタビューし、情報紙にまとめ、発信します。



消費・安全部各課の紹介②



- 次に紹介するのは、食品における表示の信頼確保を担う米穀流通・食品表示監視課です。
- 同課と消費・安全チームの総勢54人が、食品のラベル表示における産地情報の誤り、表示項目の欠落等を調べ、必要に応じて、事業者に改善を求めます。この業務は、これまでに監査や食品表示に携わったことのある方、食品表示検定をお持ちの方には、馴染みやすいと思います。

米穀流通・食品表示監視課

食品のラベル表示の監視は以下の流れで行われます。

疑い情報の把握

消費者や従業員の方から食品表示110番に疑い情報が寄せられます。農政局職員が、巡回調査や商品買い上げ等を通じて自ら疑い情報を把握することもあります。



立入検査の実施

疑い情報を精査の上、ラベルの貼り付けを行っている食品メーカーや小売店等に対し、表示内容の根拠を確認するため、抜き打ちで立入検査を行います。



改善の指導

表示内容に誤りが確認された場合には、その場で改善の指導を行います。誤りが重大である場合は、農林水産大臣名の文書で指導を行い、事業者名を公表します。



監視業務の役割とは

私たちは、店頭で商品を選ぶ際、ラベル表示を見て、原材料の産地等を確認しますが、そこには、ラベル表示の記載は正しいという前提があります。

しかし、残念ながら、ごく一部で、事業者側の確認ミスや悪意の偽装行為により、不正確な記載が発生します。

こうした不正確な記載を是正させたり、未然に防いだりするのが監視業務の役割です。警官が速度超過を取り締まったり、税関が銃や麻薬の密輸を取り締まるのと同様、社会の秩序を守る大切な仕事です。

消費・安全部各課の紹介③



- 次に紹介するのは、農薬や肥料の生産・流通に関わることで、国民の健康保護を担う農産安全管理課です。
- 課員16人が、農薬の正しい販売方法や使用方法の推進、肥料の安全性や品質の確保等に関わっています。安全な農産物の生産に興味をお持ちの方は、やりがいを感じられると思います。

農産安全管理課

農薬の業務

農薬の正しい販売や使用のための業務です。

正しく販売
されるように

“未登録の除草剤”が“農薬”と勘違いされ購入されることのないよう、販売店に指導を行います。



未登録の除草剤は
農薬として使えません

正しく使用
されるように

農薬ラベルの用法に従い農薬が使用されるよう、情報発信や呼びかけを行います。

農薬ラベルの例

作物名	害虫名	希釈倍数	使用時期	...
トマト	アブラムシ類	1000倍	収穫7日前まで	...

病害虫の
薬剤耐性に
対応するため

化学農薬への過度の依存を減らせるよう、病害虫の発生予防に重点を置いた防除を推進します。



草刈りで
病害虫の
すみかを
なくす



化学農薬
に代えて
天敵を使
う

肥料の業務

肥料の安全性や品質を確保するための業務です

安心できる肥料
が製造され
続けるために

製造法等が勝手に変更されることのないよう、登録期間の更新手続きの際に確認を行います。



肥料の表示が
正しくなされる
ために

誤表示や事項の欠落等がないよう、製造場への立入検査で確認し、必要に応じ指導を行います。



肥料の科学的分析

鉱物、産業副産物、下水汚泥等から作られた肥料には有害物質の含有リスクがあることから、国の分析機関が、初回の登録時やその後不定期に肥料の科学的分析を実施し、含有量が基準値以下であることを確認しています。

消費・安全部各課の紹介④



- 最後に紹介するのは、家畜や愛玩動物の健康に関わる畜水産安全管理課です。
- 課員14人が、法律に基づき、補助金を活用して、家畜伝染病を防止する衛生管理、家畜や愛玩動物の工サの安全確保等に関わっています。動物の健康を守る施策に興味をお持ちの方にはお勧めです！

畜水産安全管理課

衛生管理の業務ほか

家畜伝染病の防止と、その他の業務です。

家畜伝染病の発生やまん延を防ぐために

農場の衛生管理レベルを向上させるよう、車両の消毒設備等の導入に対し補助を行います。



牛の生産履歴を正確に管理するために

法律に基づき、牛の出生、譲渡等の情報が正確に管理されるよう、エラー情報の補正を行います。



公務員獣医師を確保するために

多くの獣医学部生が公務員を志すよう、県と連携し公務員獣医師に関するセミナーを開催します。



安全確保の業務

動物の工サや養殖魚等の安全性を確保するための業務です

家畜が安全な工サを食べられるように

家畜の工サとなる輸入穀物のカビ毒等を確認するため、サンプリングと分析依頼を行います。



愛玩動物が安全な工サを食べられるように

愛玩動物の工サが安全に製造されていることを確認するため、製造業者に立入検査を行います。



水産物の安全性を確保できるように

魚の養殖場を巡回したり、養殖魚体内の残留薬品を確認するため、自治体に対し補助を行います。



——いま担当している業務は？

食育班に所属し食育セミナー（学校給食セミナー）の主担当として、次回の企画から当日の運営までを行っています。また、前回の模様を発信するべくYouTube動画作成やWebサイト更新も行います。その他、交付金手続きの仕事や食育関係の展示及びイベント対応、大学での食育授業等、様々な経験をさせていただいています。

——農水省を志望した理由は？

企業の為ではなく、国（公共）の為に働きたくなり、その中でも農水省で自分の好きなこと（食）に携わりたかったからです。

——職場環境はいかがですか？

異動が多いためか皆さんとても柔軟な対応力を持っていて、かつ教え合う雰囲気があり親切な人ばかりです。チームで業務を行うのでわからないことも質問し易く、困ることはありません。

——転職をお考えの方にメッセージをお願いします。

ワークライフバランスが取れており、自分を含め皆さん多趣味です。人柄も穏やかな人ばかりで、とても働きやすくお勧めです。
自動車業界から転職した自分のように、農政に全く関わりのない業界からの転職者も多く活躍していますので、ご安心ください。



とある一日のスケジュール

9:00 出勤

メール確認・資料準備

食育関係の情報メール整理、
打合せ資料準備

11:00

学校給食セミナーの打合せ

有機給食を推進している市の担当者と面会
セミナーでの講演依頼、趣旨の説明等

12:00

13:00

昼食(出先にて)



セミナーのプレスリリース準備

プレスリリースに掲載するチラシの作成
(掲載内容調整・打合せ含む)

16:00

班メンバーでの打合せ

食育情報発信のWebサイトの原稿確認
班内で意見交換をし作りこむ

17:45 退勤



——いま担当している業務は？

食品事業者に対する立入検査の年間計画や修正、実施した立入検査の件数や内容の確認など、立入検査に伴う事務を担当しています。また、自身も立入検査に同行することがあるため、食品表示法をはじめとした関係法令について日々研鑽し、適正な立入検査が行えるよう努めています。

——農水省を志望した理由は？

誰もが生きるうえで必要な「食」の未来を守る仕事がしたいと考え志望をしました。

——職場環境はいかがですか？

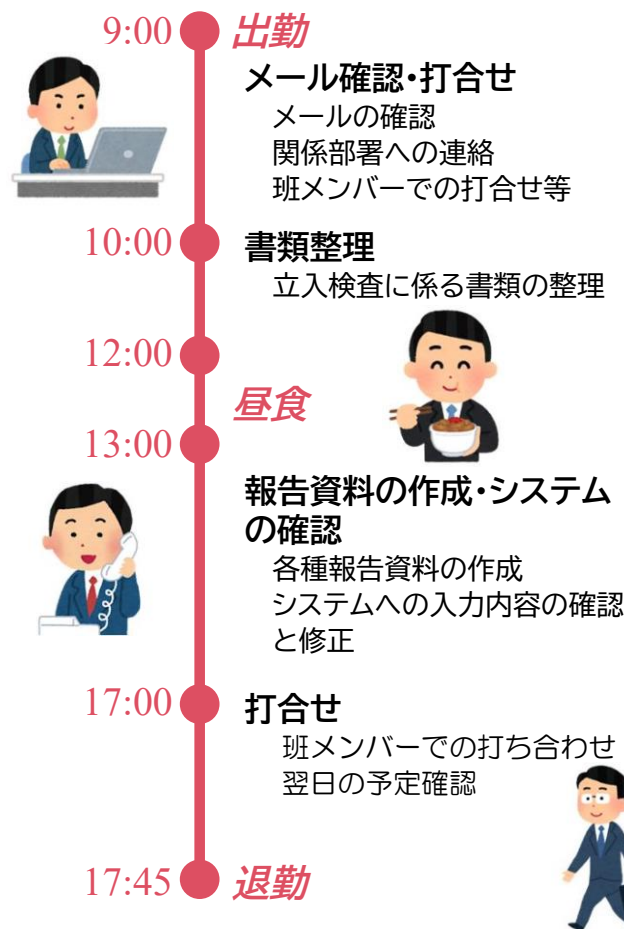
穏やかな人が多く何でも質問しやすい環境です。また、選考採用で採用された職員について、「みんなで育てよう」という空気が流れており、みなさんとても親切にしてくれます。

——転職をお考えの方にメッセージをお願いします。

これまで「食」に関する仕事をしてこなかった方でも全く問題ありません。私も違う業種からの転職でしたが、マニュアルがしっかりと整備されていますし、心配をする必要はありません。年次休暇等も取得しやすくとてもお勧めですよ！



とある一日のスケジュール



——いま担当している業務は？

重要な農業資材である肥料のうち、普通肥料の有効期間更新申請や各種届出の受付業務を行っています。肥料関連の法律がここ数年で大幅に変わっているので、書類のチェックには気を遣います。事務処理がほとんどですが、肥料業者や各県の方から電話やメールで質問があった際には、適切に対応しています。

——農水省を志望した理由は？

国の為になる仕事で、かつ自分の愛するコメに関する仕事をしたいと思ったからです。今の業務はコメには直接関係していませんが、希望する仕事ができるかは今後の情勢次第ですね。(笑)

——職場環境はいかがですか？

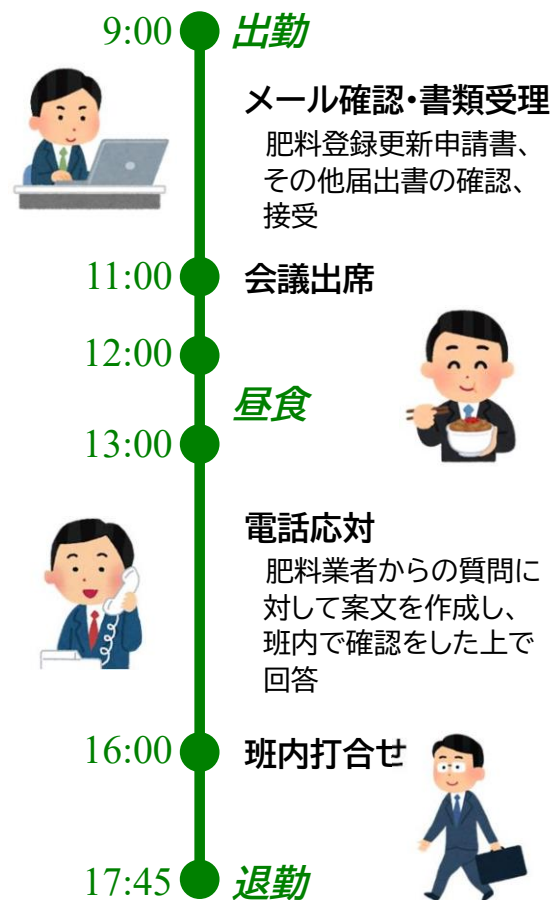
静かに業務に専念できる環境です。課内のほとんどの方が残業せず、定時で出勤、退勤します。休暇を取りやすく、テレワークやフレックスタイムも活用できるので、ワークライフバランスも維持しやすいと思います。

——転職をお考えの方にメッセージをお願いします。

ご自身の経験と照らし合わせて「縁が無いから…」と諦めることなく、農林水産省の業務に興味があれば、ぜひ採用試験に応募していただければと思います。このページを見てくださった皆さんと、業務が出来る日を楽しみにしています！



とある一日のスケジュール



——いま担当している業務は？

家畜伝染病の発生予防・まん延防止を目的に農場施設等の整備を支援する交付金業務や、公務員獣医師の確保に向けて東海3県及び岐阜大学と連携し、公務員獣医師の魅力を発信するセミナーの企画に携わっています。

——農水省を志望した理由は？

新卒の頃から大好きな「食」を支える仕事に携わってきましたが、自分自身に子どもができたことがきっかけで、未来を担うこどもたちが食に困ることなく幸せな食卓を囲むことのできる社会を築いていけるように今抱えている課題の解決や更なる発展に貢献していきたいという気持ちが強くなり志望しました。



——職場環境はいかがですか？

現在1歳児の子育て中なので、子どもが急に熱を出して早退や休まざるを得ない日もありますが、職場の方々には子育て経験者も多く、温かいご理解とサポートを頂いているおかげで両立をしながら働くことができており、非常にありがたい環境だと感じています。



——転職をお考えの方にメッセージをお願いします。

最初は専門的な知識などわからないことも多いと思いますが、丁寧に教えて頂けたり、研修制度も充実しているので、前職のスキルを問わず成長できる環境があるのが魅力だと感じています。また、私のように子育て中の方も有給休暇の取得やテレワークなども活用しやすい雰囲気があり、柔軟に働くことができます。農林水産業の幅広いフィールドで活躍したいという熱い思いのある方は是非チャレンジしてみてください！！

とある一日のスケジュール





消費・安全部長 小山内 司

このパンフをご覧になった方への メッセージ

消費・安全部は、食への信頼と食の安全を確保することで、消費者のみなさまに食の安心を届ける仕事をしています。

私のモットーは「仕事は楽しく！」で、部の職員には、自由に考え、やってみることを推奨しています。

採用から年数の浅い選考採用職員には、年に数回、部内の人事担当者が個別面談で丁寧にお話を伺っており、心のケアに努めています。

表紙のコピーに共感いただけたあなた、私たちと一緒に仕事をしてみませんか。

小山内 司



**東海農政局の選考採用職員は年々増えています。
あなたの応募、お待ちしております！**

消費・安全部 管理職及び選考採用職員一同